

小 松 基 地 ・ 空 港 対 策 特 別 委 員 会

1. 日 時 平成 29 年 12 月 19 日 (火)
午後 2 時 00 分 開会
午後 2 時 40 分 閉会
2. 場 所 第 2 委員会室
3. 出席委員 浅野清利委員長、灰田昌典副委員長、新田寛之委員、梅田利和議員、
片山瞬次郎委員、二木攻委員、川崎順次委員
4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

調査事項

- ・ 在日米軍再編に係る訓練移転について

報告事項

【飛行場課】

- ・ 平成 29 年度上半期の緊急発進実施状況について

【国際都市推進課】

- ・ 小松・台北便における L C C の就航について

6. 委員長報告の要旨

■金沢防衛事務所の小松市への移転について

金沢防衛事務所を小松市浮柳町地内、大阪航空局小松空港事務所庁舎 1 階に移転するとのことについては、以前から報告がありましたが、名称は小松防衛事務所に決定したとのことで、来年 1 月 4 日より業務を開始するとの報告がありました。

■平成 29 年度上半期の緊急発進実施状況について

10 月 13 日に統合幕僚監部から発表された資料によりますと、平成 29 年度上半期の緊急発進回数は 561 回であり、前年度の同期と比べ、33 回 減少したとのことであります。昨年の過去最高とほぼ同水準の状況となっております。

方面隊別の状況ですが、北部航空方面隊が 229 回、昨年比 68 回増、中部航空方面隊が 34 回、昨年比 17 回増、西部航空方面隊が 17 回、昨年比 17 回減、南西航空方面隊が 281 回、昨年比 101 減でありました。

平成29年度上半期の特徴ですが、中国機に対する緊急発進回数は287回であり、前年度同期と比べ、120回減少し、ロシア機に対する緊急発進回数は267回であり、前年度と比べ87回増加したとのことであります。

近頃、北朝鮮からではないかと思われる木造船が、全国の日本海岸沿岸部に漂流・漂着しております。

海上保安庁が管轄とのことで、航空自衛隊小松基地においても、不審物を発見した場合、関係機関と連携した適切な対応をしていると思っておりますが、市民の安全・安心に係る部分について、情報の提供に努めるよう求めました。

■小松・台北便におけるLCCの就航について

日本への10番目の就航都市として、来年1月18日、小松空港にLCCのタイガーエア台湾が就航するとのことで、小松・台湾便が毎日運航となります。

小松空港の国際チャーター便を始めとする国際線が好調で、特に、台湾便については、デイリー化を強く望んでいた所でもあり、今後ますますのインバウンドが期待されるところであります。

東京オリンピック、パラリンピックを契機として、インバウンド4,000万人時代を控え、台湾のみならず、海外への積極的なプロモーションを展開することにより、誘客促進に努めていくとのことであります。

「環境王国こまつ」を掲げている小松市が、「農泊 食文化海外発信地域(SAVAR JAPAN)」の認定を受けたとのことでありますので、台湾のみならず海外の人々に、小松の食を含めた観光資源をもっと知っていただくために、海外向けの観光ルートの設定など、より創意工夫し、今後利用者増に向けた取り組みにより、更なる小松空港の活性化・利用促進に努めるよう求めました。

■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのことであります。

今後とも、訓練実施の際には、市民の安全・安心を図るため、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めるものであります。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。